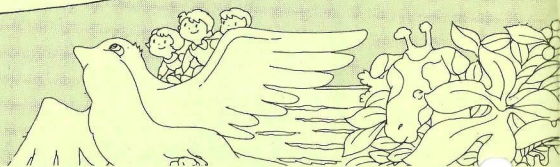


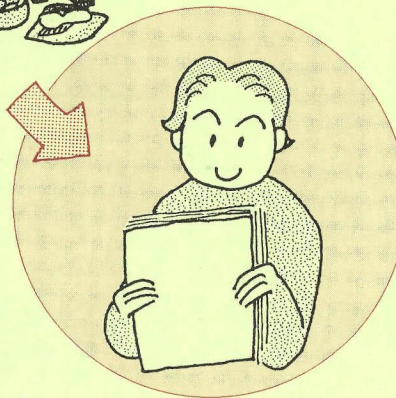
# 月刊 リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に  
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市  
内の資源回収業者の組合(136  
業者が加盟)による、市民と組合  
員にリサイクルの情報・回収の  
実情を伝えるための情報誌です



## 割り箸から 紙ができた!



「割り箸は森林資源のムダ使い」  
「いや、間伐材を使っているのだ  
から、資源の有効利用ではないか」  
などと、割り箸をめぐって、様々  
な意見がかわされてきました。  
現実に目を向ければ、大多数の  
飲食店で割り箸が使われていま  
す。できるだけ何度も使用できる  
箸やフォーク使うようにしたいけ  
れど、使ってしまったものはせめ

員食堂の使用済み割り箸を原料に使  
い始め、九五年十一月からは外部  
から持ち込まれたものも受け入れ  
るようになりました。送料は持ち  
込む側の負担であるにもかかわらず、  
春日井工場の五月の受入量は二千  
三百五十八キロとなっています。  
ただ、割り箸はそのまま機械に  
投入できる紙の原料「チップ」と

てゴミとして捨てずに有効活用で  
きたら、と思っていました。そん  
な時、製紙会社で割り箸を紙の原  
料に使っているという話を聞きま  
した。  
割り箸リサイクルをしているの  
は、王子製紙。五年前に工場の社

は違い、人の手で少しずつ送り込  
まなくてはならないので、原料と  
して使うには手間がかかります。  
だから、大量に使うことはできま  
せん。それでも受け入れ続けている  
のは、こうした形で少しでもゴ  
ミとして捨てられる割り箸を減ら

してゴミ減量に協力し、資源とし  
て生かしたい、という思いからだ  
そうです。

悩みは送られてくる割り箸に混  
ざっている異物。驚いたことに、  
スプーンやフォークが入っている  
こともあるそうですが、特に多い  
のは竹串です。竹は割り箸の素材  
となる木とは、分解する条件が違  
うため、一緒に原料として使うこ  
とができません。そのため竹串を  
一本一本手で取り除いているのが  
現状です。

スムーズにリサイクルするため  
に、以下のマナーを守って送って  
ください。

- 段ボールに割り箸だけを入れて  
送ってください。竹串・竹箸・塗  
り箸などは混ぜないで。
- ビニールに入れたり、輪ゴムな  
どで束ねると、かえって手間がか  
かります。

- 基本的に洗う必要はありません  
せん。ただし、餅のようなものは取  
ってください。

- 送料は自己負担で。

送先

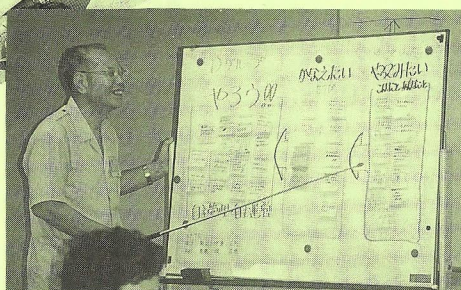
〒468 愛知県春日井市王子町1

王子製紙株式会社

春日井工場 業務部総務宛

☎0568・85・2013

# 市民の手でつくる リサイクル コミュニティ センター



『リサイクルコミュニティセンター』という名称を聞いたことがありますか？ 横浜市が市内の各区に一つずつ、地域のリサイクル活動を実践・支援する場として、また情報の拠点として、整備を計画している施設です。神奈川区では他の区に先駆けて、昨年度からリサイクルコミュニティセンター（以下RCCとします）整備に取り組み始めました。

これまで行政が新しい施設作りに取り組む場合、まず行政が提案して、その後市民に意見を聞き修正を加えるという、どちらかと言えば行政が決めたものを市民が承認していく形で進めることが多かったのですが、今回は当初から市民が参加し、ワークショップを行って意見を出してもらい、それができるだけ反映させながら検討していくというように、行政と市民が互いに交流しながら進行させているのが特徴です。

一年目は施設の内容についてのイメージを描くことから始めて、施設の設計というハード面の整備を行ってきました。二年目に入っただ今年度は、基本設計をふまえたうえで、施設をどう使い運営して

いくかというソフト面について充実させる段階に入っています。

今年度一回目のワークショップは、7月5日神奈川区役所で行われました。参加者は20名。その約八割は去年から継続的に関わっているそうです。

RCCを作る場所は、神奈川区平川町にあった二ツ谷公設市場の跡地。地下1階、地上5階の建物のうち、地下1階と1階、2階の一部を再利用します（2・5階は県住宅供給公社の住宅）。完成予定は平成11年度。昨年度までに決まった基本設計に基づき、次のような3つのコーナーと、地下部分（ホール・多目的室）で構成されることになっています。

● 達人工房・オープン工房  
● RCCライブラリ！情報コーナー

● 子ども何でもスペース  
● ホール・多目的室（地下）

それぞれのスペースに工夫がこらされていますが、例として地下のスペースを見てみましょう。これまで公共施設のホールなどは画一的な管理が行われ、施設全体が一定の時間までしか使えない場合

がほとんどでしたが、ワークショップでの提案をもとに、警備などの設備を他の部分と切り離してもう一つ作ることで、延長使用が可能になります。

今回のワークショップでは、参加者の希望に従って4つのグループに分かれ、それぞれのコーナーをどんな内容にしていけばよいか、アイデアを出し検討しました。これまでワークショップの進行を区側が行ってききましたが、今年は市民に担ってもらおうよう移行していく方針とのことで、早速参加者たちがそれぞれの役割を引き受けて、楽しみに話し合いを進めています。

アドバイザーとしてワークショップに関わり続けている内海宏さんに、お話をうかがいました。

「他の区でもいろいろな市民参加型の事業が行われていますが、神奈川区の参加者はバランスがとれています。いろいろな立場の方が参加してくださっているし、男女の比率もいいですね。区役所内部でもいろいろな部局が関わっているのですが、協調体制がうまくとれています。意見もかなりきめ細やかに吸い上げていると思います

●次回ワークショップは9月13日(土)

●問い合わせ先 神奈川県役所 企画調整係

☎045・411・7026/FAX 045・324・5904



よ。  
もちろん、まだ多くの問題点もかかえています。目標としている自主運営・自主管理を行うためには人材が必要だし、RCCの運営をどう進めていくかということについて、細かなところまで検討しなくてはなりません。従来の地区センターのような管理方法ではなく、さまざまな人がいろいろな立場でスタッフとして関わって運営していけるようにしたいと思っ

ているので、できればワークショップに参加した人の中から、事務局と一緒に企画・運営を担う人が出てきて欲しいと思っています。たくさんの方に関わっていただき、その方たちに担い手の一人になっていただくようになって、始めて成果がわかるのではないのでしょうか。これからどういう形になっていくのか、楽しみです」

行政側は、市民が参加することに対して、どういう期待をしているのでしょうか。  
「今年は『施設をどう使い、運営していくのか』という重要な部分についてみなさんに意見を出していただくわけですから、昨年度よりもっと市民のみなさんに踏み込んで議論をしていただけることを期待しています。そして、できれば平成十一年度に完成した時には、市民参加型の自主管理方式がとれば一番いいと思っています。」

ワークショップへの参加は継続的であることも大切ですが、たくさんの方のご意見をいただきたいので、一回だけ参加したいという方も大歓迎です」(神奈川県役所・区政推進課長 大久保 孝志さん)  
今回は、作り貯めた作品を持参したリサイクルの達人の参加があったり、「人間のリサイクルをするために、カラオケやアルコールがおけるといいんだけど」と発言して会場に笑いをわきおこした人もありました。また、「子ども何でもスペース」はその場所だけではなくて、RCC全体のことと考えたいのでは。お母さんが子どもを安心して連れてくることのできるスペースにしたい」といった意見も出されました。

ワークショップ終了後、参加者に感想をうかがってみました。  
「今、市では分別回収をしていますが、出し方を見ているとモラルがありません。何でもごちゃ混ぜです。こういうことは、一気にできることじゃないから、小さい頃から環境やリサイクルについて勉強して覚えていってほしいんです。そうした場所としてのコミュニティセンターに期待しています。」

横浜市で最初の施設だから、行政に任せっぱなしでなく自分たちもかわって、いい方向に向かっていくといいですね」

「初めて参加したのですが、行政の作ったひな形のようなものが準備されているのかと思っていました。でも何も決まっていなかった。話し合いが必要なんです。いろいろな方が関わっていて、違った視点の意見が聞けてよかった」

神奈川県で整備されるRCCは施設の機能そのものだけではなく、行政の作る施設に設計の初期段階から、完成後の管理や運営まで市民が関わることができるという点においても、大きな特色があります。横浜市では、今後順次RCCの整備が計画されているようです。この新しい試みに、あなたも機会を見つけて参加してみませんか。



大きめの付箋に自分のアイデアを書き、全員のものが出揃ったところで、分類してまとめる。後方の男性はアドバイザーの内海さん



お茶・スナック菓子などの包装パック。この素材はアルミとビニール、つまりアルミコーティングビニールということになります。私はアルミビニールと呼ぶことにしたのですが、これがいりいろな場面で大重宝。

③この他に、家や草むらな

はこれを表にして鶴を折ってみます。そしてこれを電気スイッチの『さわらないで』印にしたいかがでしようか。以前わが家では不使用スイッチにはビニールテープ(注)を貼っていた

アルミの包装パックはぜひぶん長い間、再利用はできないとあきらめていたが、私はこれ以外にも五つ以上の素敵な再利用法を見つけました。まさに捨てればゴミ、生かせば素材です。これを機に皆様にもアルミパックを捨てずに生かしていただけたらうれしい限りです。

## 地球をまもる家事と工作

### 第16回 アルミパックの大変身 優雅な網戸の補修

島 秀子

エコサイクル家事研究家



▼穴があいてしまった網戸  
穴のあいた網戸を大きな一枚のパネルだと思ってください。この大きなパネルをアルミビニールで作ったシールで補修します。上の方に折り鶴、下の方には蝶やトンボなどを、両面テープで貼りつけていきます。もちろん網戸にあいた穴をふさぎながら。網戸一面が控えめな銀色の絵シールで、素敵な世界に変わります。

①折り鶴：まず鶴を折ってみましょう。アルミ色は銀色。この銀色の方を表にして折れば、優雅な鶴の出来上がりです。網戸の内側と外側に貼りつけるため、同じものを二つ作ります。

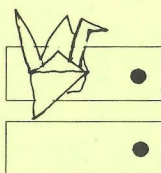
②蝶とトンボ：幅広い両面

▼印刷面の色を生かして  
アルミパックの外側(印刷面)にも、時々きれいな色

の形を作った、網戸のパネルを楽しんでみてください。

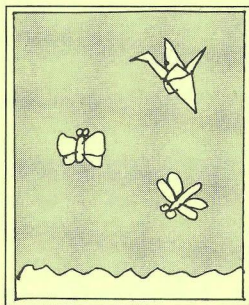
のですが、折り鶴にしてみたらぐんと素敵になり、夜の暗い時にも、さわった感触ですぐに解って、とても便利です。

▼捨てればゴミ  
生かせば素材



▲電気スイッチ

網戸 ▶



注 電気絶縁用のビニールテープはほとんどが塩ビ系です。塩ビ(塩化ビニール)製品はダイオキシンの発生要因と報告されているもの。極力使用を減らしましょう。

## 再生紙を使ってみませんか！

私たちの資源回収から生まれた再生紙です

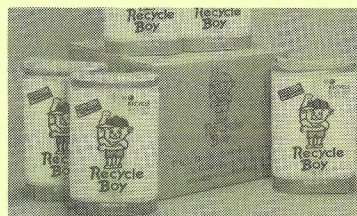
地球環境を保護することにこだわり、環境汚染をなくすよう配慮して作りました。再生紙を使うことは、省エネルギー・ゴミ減量・森林保護を支え、しかも経済的。私たちの願いは、地球の未来のために住みやすい環境をすることです。

### ●リサイクルボーイ トイレットペーパー

さわったお尻は忘れない

| サイズ       | 1ケースの入数                 | 規格   | 10ケース以下     | 11ケース以上     |
|-----------|-------------------------|------|-------------|-------------|
| シングル(芯なし) | (1ケース8パック/1パック6ロール) 48個 | 130m | 1ケース 3,360円 | 1ケース 3,000円 |

\*上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり(各種・各サイズ込み)の価格です。消費税が別途かかります。  
\*配送は、受注後2~3日以内(土・日は除く)。送料は無料です。10ケース以上のご注文については、別途ご相談ください。



## 雑誌の集団回収についての お知らせとお願い

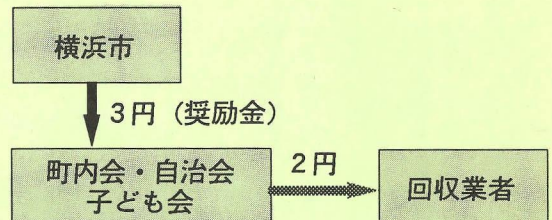
リサイクルデザイン誌上ですでに何度もお知らせしていますが、古紙価格が下がり続けているために、特に雑誌の回収に混乱が起きています。

先ごろ、集団回収を実施している団体に対して横浜市環境事業局から文書が送付されましたが、その内容について多少誤解されている面が見受けられるため、改めてご説明したいと思います。

●逆有償となったため、雑誌の回収を続けている業者と、回収を中止した業者があります。事前に取り引き業者に確認してください。

●業者が雑誌の回収を続ける場合、『逆有償』ということになりますが、必ずしも赤字になるわけではありません。町内会・自治会・子ども会による回収の場合横浜市からの奨励金があるので、逆有償の金額が3円未満であれば、赤字ではなく収入増となります。

例 1キロ2円の逆有償の場合



市の奨励金との差額が1キロあたり1円あるので、3トン回収すれば3,000キロ×1円=3,000円の収入となります。回収しなければ、収入は当然1円もありません。

●雑誌の回収が中止されたり、逆有償ということでお金をとられるからと、新聞の中に雑誌を混ぜて出すと、すべて雑誌とみなされます。新聞の束の中に雑誌は入れないでください。

以上の点をご承知いただいたうえで、業者とご相談いただくようお願いいたします。

暑い日にはつい手が出てしまいう缶ジュース。その缶には、スチール缶と呼ばれる鉄でできた缶が多く使われています。このスチール缶の昨年のリサイクル率が、過去最高の77.3%だったという発表がありました。

スチール缶はどんなものにリサイクルされているのでしょうか。その多くは、溶かしてビルなどを建てる時に骨組みとして使う鉄筋の棒になります。スチール缶をリサイクルして、もう一度スチール缶として使うことはほとんどありません。缶は飲物を入れるものですから、原料となるスチール板の成分には厳しい規定が出たもの

すが、暑い時期には缶の中で残ったジュースが腐って臭います。何十本・何百本と集まった時の臭いは大変なもの。ジュースを飲んだら、さっとゆすいでから回収に出すようにするだけで、臭いの発生が防げます。  
\*この数字は資源として再利用された缶の量を生産量で割って出したもの

77.3%

この数字  
なんだ？



## 組合員紹介 NO.13



(有)佐伯政吉商店 佐伯滝雄さん

〒232 横浜市南区日枝町3-93

☎045・251・7602

■取扱品目: 生きびん・カレット  
酒・ビール箱回収

佐伯さんは生きびんなどを回収しているびん商です。佐伯さんのおじいさんが大正十五年にはじめ、昭和三十一年に今の有限会社の形になりました。昭和四十八年、先代が亡くなったため、お父さんが社長に、佐伯さんはまだ学生だったにもかかわらず専務になりました。子どもの頃から家の仕事の手伝いをしていた、他ではアルバイトをしたこと

はありません。「この仕事が嫌だと思ったことは一度もないから、特に他でアルバイトをしたいとは思わなかったよ。苦労したなんて思ったこともないし、仕事がつくても何でもない。逆に仕事があると張り切るよ。身体は小さいけれど、大きいトラックに乗ってたりするしね」。

今年三月には、リサイクル組合の海外研修にも参加しました。「デンマークのびんの工場を見学したけれど、法律に守られている国は違うね。日本もあそこまでやらないとダメだと思う」。ちなみにデンマークでは、缶の使用は禁止。びんを新しく作ると、その段階で税金がかかりますが、リサイクルびんには税金がかかりません。またびんは約三十三回利用するそうです。

佐伯さんは長年この仕事をしているだけあって、びんの選別は暗い場所でもできるし、びんの入っているケースをポンポン投げて割れないのだから、慣れない人がやったら割れますから、マネしないでください。笑いながら、「コンクールがあれば、優勝しちゃうよ」と、自信たっぷりに語ってくださる佐伯さんでした。

「身体は小さいけど、大きなトラックに乗って走り回ってる。この仕事が嫌だと思ったことは一度もないよ」

### 第3回 リサイクルデザインフォーラム

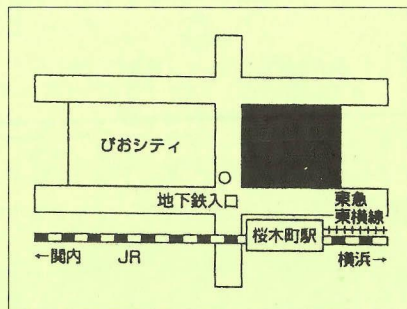
## これからの古紙リサイクル どうしていったら いいんだろう



使ってほしい再生紙 〈再生紙と純パルプ紙の比較〉

- 日時: 8月24日(日) 開場◆13:00 開演◆13:30
- 会場: 横浜市社会福祉センター4F 横浜市中区桜木町1-1
- 主催: 横浜市資源リサイクル事業協同組合 古紙委員会
- 定員: 200名
- パネラー  
井町 忠 (横浜市環境事業局減量推進担当部長)  
忠内真須美 (横浜リサイクラー会議代表)  
河合晃一 (東海パルプ株式会社特殊用紙部部長)  
深田和利 (株式会社 国光 専務取締役)  
三浦喜夫 (三浦商店)

■お問い合わせ・お申し込み  
横浜市資源リサイクル事業協同組合 〒220 横浜市西区平沼1-33-1  
TEL 045・316・4050/FAX 045・316・6050



## リサイクル 標準価格表

平成9年6月現在

| 品 名  | 買入価格*         | 業者の売値<br>6/26日経新聞より |
|------|---------------|---------------------|
| 新 聞  | 1kg - 1~0円**  | 1kg 3~4円            |
| 雑 誌  | 1kg - 5~-2円** | 1kg 0~-5円           |
| 段ボール | 1kg - 3円**    | 1kg 3~4円            |
| 衣類くず | 1kg - 1~0円**  | 1kg 4~5円            |
| アルミ缶 | 1kg 10~20円*** |                     |

\*集団回収には「買入価格」が適用されます

\*\*有償となります

\*\*\*スチール缶などと選別してある場合の価格です

★この価格は500kg以上集団回収する団体のみに適用されます  
また取引条件により、多少の変化があります★事業所から発生したものは、集団回収の対象になりません  
事業所ごとに、業者と直接ご相談ください★集団回収以外の段ボールの回収には、1回3,000円以上の  
手数料がかかります

★段ボールは必ず束ねて出してください

オフィス古紙  
共同回収

'97.5

参加企業13社

13,070kg

回収地域は横浜駅西口・  
新横浜の2か所アルミ缶  
店頭回収

'97.5

市内スーパー等  
102店舗

46,490kg

(3,156,000缶)

横浜橋通商店街  
ダンボール回収

'97.5

12,090kg

今回は段ボールのリサイクルについてお話し  
ます。段ボールは、回収量が新聞と並んで多い  
うえ、その100%近くが段ボールに再生されて  
いる、リサイクルの優等生の一つ。集めた段  
ボールは溶かして乾かした後、再び段ボールに  
生まれ変わります。段ボールは3枚の紙を組み  
合わせてあります。一般に表には丈夫な紙を使  
い、間の波状の紙や裏の紙の種類はユーザーの  
目的に合わせて決めます。はっきりしたことは  
わかりませんが、5~6回はリサイクルされてい  
るようです。

最近、問題となっているのは、事業所から出  
る段ボールの回収です。事業系のゴミが有料化  
され、お金を払わないと段ボールを回収しても  
らえなくなったため、事業所や商店が段ボール  
を集団回収に『協力』と称して出すようになった  
のです。今、段ボールは相場が下がり（左の  
表をご参照ください）、事業系だけでなく一般  
の回収でも逆有償、つまり料金をいただかない  
と回収できないような状態にあるうえ、段ボール  
は他の古紙に比べて運搬コストがかかります。  
ただ、集団回収についてはこれまでの経緯  
があり行政から奨励金が出ているので、何とか  
無償での回収が続けられているのです。そこ  
に、本来料金を支払わないと回収しないはずの  
事業系の段ボールが大量に出されるために、回  
収業者が四苦八苦しているのが  
現状です。事業系の段ボール  
は、本来認められた方法で  
回収に出していただくよう  
ご協力ください。

リサイクル  
コンポイント月刊 リサイクルデザイン  
No.35

発行日 1997年7月15日

発行人 中野聡恭

編集人 宗村隆寛

発行所

横浜市資源リサイクル事業協同組合  
〒220 横浜西区平沼1丁目33番1号  
東洋建物横浜ビル5階  
TEL 045・316・5122  
FAX 045・316・5122

スタッフ

山岡秀明・武松昭男  
杉山宜利・稲葉一由・竹澤留美

ライター 島秀子・ササキミチコ  
イラスト いとうみき  
編集・制作 よしのたかこ

印刷 オリジナルプランニング

## 編集後記

◆リサイクルデザインNo.33に掲載したおすすめグッズ『サングラス』にたくさんのお問い合わせをいただきました。紫外線の問題に関心のある方が多いことを、改めて感じました。  
サングラスはまだ若干手元に残っておりますので、ご希望の方は下記までお問い合わせください。

☎045・316・5122  
(Donald)

バックナンバー差しあげます。  
送料のみご負担ください。  
お申し込みはお電話で。  
☎045・316・5122 担当 竹澤

“What's リサイクル?”  
質問募集

リサイクルに関してわからないことがあ  
ったら、FAXを送ってください（もちろん郵  
便でもOK “What's リサイクル?”宛）。  
あなたの疑問をできるだけ早く解決します  
（目標3日以内）。

ご質問には必ず住所・氏名・FAX番号を  
お書き添えください。FAXの番号がない  
とお返事ができないのでご注意ください。

リサイクルデザインに  
採用させていただくこ  
ともあります。採用さ  
せていただいた方には、  
リサイクルボーイ・ト  
イレットペーパーを差  
し上げます。



専用FAX 045・316・5122